

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

保険者名	伊丹市
所属名	介護保険課

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

保険者名	第7期介護保険事業計画に記載の内容				R2年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
伊丹市	①自立支援・介護予防・重度化防止	市民が、日常生活の中で主体的に楽しく継続して自らの健康づくりにとりこめるよう支援する必要がある。	住民主体の通いの場の創出 -(いきいき百歳体操の推進)	実施グループ数 [124グループ]	107グループ	◎	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動自粛せざるを得ない状況であったが、感染予防対策を行いながら実施できた。
伊丹市	①自立支援・介護予防・重度化防止	地域における高齢者の生活支援体制を充実するとともに、地域における多様な支え合いの体制づくりを支援する必要がある。	住民主体の通いの場の創出 -(介護予防拠点づくり)	サポーター(事業担い手: 登録ボランティア)登録者数 [95人]	75人	○	新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティアの依頼数、ボランティア登録者数も減少したが、毎月定例である依頼には継続して対応できた。新型コロナウイルス感染症が収束した際には、改めてボランティア活動について周知する必要がある。
伊丹市	①自立支援・介護予防・重度化防止	高齢者が自らの健康管理・保持増進に取り組むための知識や実践方法の普及及び認知症に対する理解を深めるための支援が必要。	主体的な健康づくり・介護予防の支援 -(高齢者への健康教育実施)	講座の参加者数 [720人]	174人	×	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座の開催が難しい状況であったが、感染対策を行い、回数を減らして開催した。また自治回覧や広報紙で自宅で行える介護予防について周知する等、講座以外の異なる方法で健康づくり・介護予防の支援を行った。
伊丹市	①自立支援・介護予防・重度化防止	高齢者を介護している家族や近隣の援助者等が介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識・技術を習得することが必要である。	主体的な健康づくり・介護予防の支援 -(家族介護教室の実施)	教室の参加者数 [450人]	127人	×	新型コロナウイルス感染症の影響により、教室を開催することが難しい状況であった。家族介護者のニーズの把握とそれに沿った有益な内容の教室の開催方法について検討していく必要がある。
伊丹市	①自立支援・介護予防・重度化防止	認知症高齢者に対する適切な対応などについて、正しい理解の浸透を図る必要がある。	認知症予防・正しい理解の促進 -(認知症サポーターの養成)	認知症サポーター数 (のべ)[8,500人]	13,680人	◎	新型コロナウイルス感染症流行のため、講座を開催することが難しい状況であった。新型コロナウイルス感染症が収束した際には、改めて認知症サポーター養成講座の受講の必要性等を周知し、積極的に開催していく必要がある。
伊丹市	①自立支援・介護予防・重度化防止	介護者への支援を行うことが認知症高齢者の生活の質の改善のために必要である。	認知症予防・正しい理解の促進 -(認知症初期集中支援(チームの活動))	支援世帯数 [7世帯]	6世帯	◎	チームとして支援が必要な事例を支援することができた。また、関係機関と積極的に連携し、本人・家族が望む生活が継続できるように支援することができた。